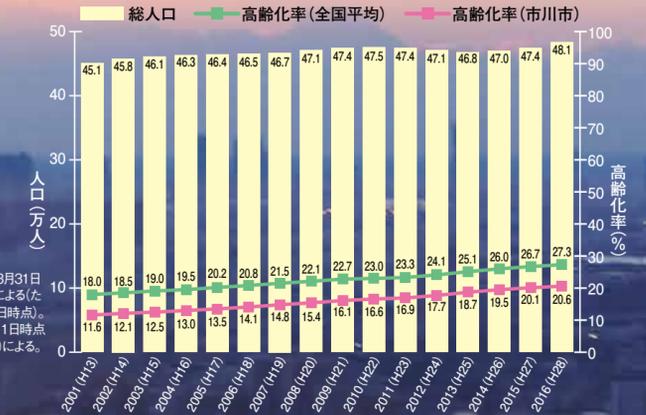




笑顔が輝く わが街いちかわ

◀アイリンクタウン展望施設からの初日の出

市川市の総人口と高齢化率の推移(全国との比較)



市川の新しい1年がスタートしました。現在、国全体では人口減少や少子高齢化が進んでいますが、市川市の人口は、若い世代の転入などにより、昨年48万人を突破しました。これまで取り組んできたさまざまな施策などが、着実に実を結びつつあるようです。今号では、それら施策の中の主なものとともに、市内に住む人や通う人が語る街への思いを紹介します。

☎334-1106 広報広聴課

迎えた新年 市川市のこれから

市の人口は、平成27年8月から過去最多を更新し続け、今もなお微増しています。特に、市民の平均年齢が42.9歳で国推計の日本人平均より3歳以上も若く、

高齢化率も20.6%と全国平均の27.3%を大きく下回っているのが特徴で、これからは、市川市の未来に向けた活力が垣間見えてきます。迎えた新年も、市民のみなさんが生き生きと暮らせる街づくりを目指します。(文中のデータはいずれも平成28年10月現在)

新たな市民交流の拠点 八幡市民会館がオープン

3月に新たに開館する「八幡市民会館」は、ホールや展示室などを備え、市民のみなさんのサークル活動や発表の場として利用できる施設となります。

新第2庁舎が完成 市役所の建て替えが大きく前進

本庁舎建て替えの間、仮本庁舎となる新第2庁舎が4月に完成し、5月に業務を開始します。また、新第1庁舎は平成32年3月の完成に向けて工事が始まります。

水害への備えを強化 進む都市基盤整備

平成29年度完成予定の東京外かく環状道路は、公共下水道などの都市基盤整備にも大きな役割を果たしています。道路整備の進展に伴い、4月には雨水を江戸川へ排出する大和田ポンプ場が完成し、周辺地域での浸水被害への備えが強化されます。

安心して子育てできる 環境づくり

昨年開始した婚活支援事業「あいステップ」は、楽しく自然に交流を深められると好評で、予想以上の申し込み数と成果を上げています。今年も引き続き、結婚を希望する若い世代に出会いの場を提供します。

若い世代に新しい出会いを

昨年開始した婚活支援事業「あいステップ」は、楽しく自然に交流を深められると好評で、予想以上の申し込み数と成果を上げています。今年も引き続き、結婚を希望する若い世代に出会いの場を提供します。

スポーツを通して交流し 生涯を健やかに

健康増進や生きがいづくり、触れ合いの場づくりのため、北東部スポーツタウン基本構想に基づき、柏井地区にテニスコートなどスポーツ施設を整備します。

市川のここが好き

この街に生まれこの街に生きる

愛する市川を次世代に引き継ぐために

滝沢晶次さん(自治会連合協議会 会長)

先祖代々市川在住で、市内の学校に通い家業を継いで、この街とともに生きてきました。子どものころの戦争体験や戦後の急激な復興など、思い出の中には今の人が知らないことや記録に残っていないことも多く、市川で生まれ育った私は、それを後世の市民に伝えたいと絵を描き残しています。市川は昔、品格ある洗練された街だと言われていました。今もまだ、単なる東京の衛星都市ではない他とは違うものがある、市民としての誇りのようなもの、確かにあると感じます。しかし、これからは少子高齢化や人口減少の時代ですから、これからこの街をどうしていくかを、全員で真剣に考えなくてはなりません。若い人に地域にもっと目を向けてもらい、従来の自治会活動だけでなく、地域づくりを次の世代に任せられる環境づくりを考えていきたいですね。

多世代の大家族で暮らす

一緒にいるだけで安心

中嶋貞行さん・幸恵さん・貞治さん・照代さん・聖斗くん・浩斗くん・勇斗くん・卓斗くん(原木在住)

田畑が多かった子どものころと比べるとずいぶん住宅が増えましたが、道路などの整備が進み住みよくなったと思います。息子夫婦は4人の男の子を育てていますが、市川市は公立幼稚園があり、学校も近いのいいですね。3世代で同居する8人家族の暮らしは、一緒にいるのが当たり前で、特に大家族を意識したことはありません。何か特別にしてあげるわけではないけれど、息子夫婦は、一緒にいて見ていてくれるだけで安心だと思います。孫たちも、みんなでいるから楽しいと言いますし、ケンカもするけれど、だからこそ仲が良いのだと思います。

この街で育てたい

子どもができたのを機に転入しました

増本明彦さん・香織さん・孝ちゃん(八幡在住)

八幡は松や桜が多く、葛飾八幡宮や真間川の景観が美しいと思います。いわゆる新興住宅地とは異なる、歴史と趣ある街並みが気に入って市川市を選びました。交通の便が良く、買い物や娯楽も一通りある上に、地域のつながりが残っていて隣近所で声掛けがあるのが安心です。保育園入園が今一番の心配事ですが、同世代のママ友達もいるので心強いです。八幡親子つどいの広場や中央こども館など、子育て施設やイベントもよく利用します。この子がすくすくと育ってくれることが今の願いです。

市外から通って発見

自然や文化が大切にされている街

千葉商科大学 政策情報学部 朽木ゼミナール 金富由利子さん・勝佐友美さん・柴田千嘉さん・中嶋進悟さん

通学していて感じるのは、交通の便が良く駅からも開けていますが、大学周辺は江戸川や里見公園など緑が多く自然が豊かだということ。ゼミでは地域紹介の情報誌を制作しているのでフィールドワークに行きますが、歴史や文学などの文化的資源が多いうえに、年中行事や古くからの伝承などが大切に受け

継がれていること、地域の方が温かく対応してくれることに驚かされます。地域のみなさんが市川の文化を残し伝えることに積極的で、だからこそ古き良きものが残っているのだと思います。